

令和4年10月市議会臨時会 環境経済委員会資料

第141号議案 令和4年度長崎市一般会計補正予算（第8号）

〔文化観光部所管分〕

【目次】

（予算説明書頁）（資料頁）

[7款 商工費]

7・1・4 観光費

1 観光振興対策費

1 G7保健大臣会合推進協議会負担金・・・・・・・・・・・・・・・・ 18～19 3～16

文化観光部
令和4年10月

予 算 説 明 書					事 業 名	補正予算額
頁	款	項	目	番号		
18 ～ 19	7 商工費	1 商工費	4 観光費	1	G7 保健大臣会合推進協 議会負担金	千円 37,500

1 概要

令和4年9月16日に、来年5月に開催されるG7広島サミットに伴う14の関係閣僚会合のうち、保健大臣会合の長崎市開催が発表された。

G7サミットは、フランス、アメリカ、イギリス、ドイツ、日本、イタリア、カナダの7か国と欧州連合（EU）の首脳が参加して毎年開催される国際会議であり、保健大臣会合は、国際社会が直面する様々な保健課題について意見交換を行い、各国の合意形成を図る会合である。

G7サミットに伴う関係閣僚会合が長崎で開催されるのは初めてであり、今後、官民で組織される協議会を中心に、県・市が一体となって大会成功に向けてお迎えする準備を進めていくもの。

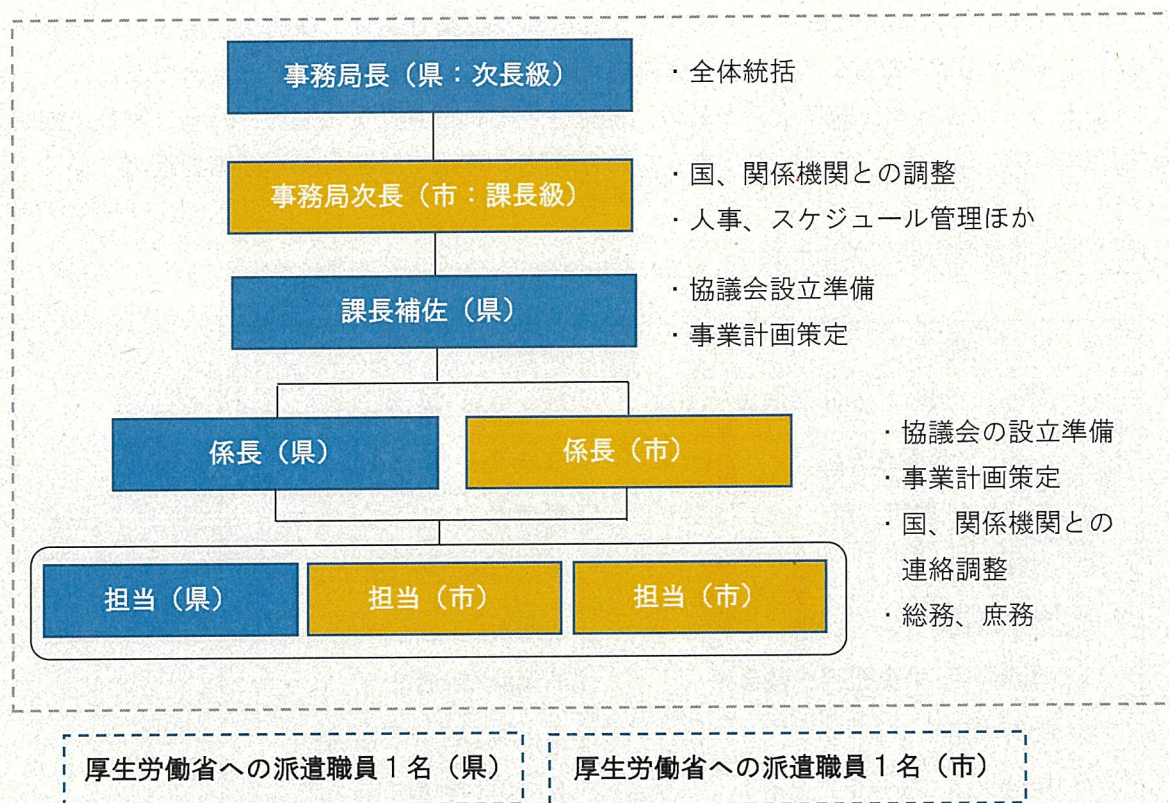
(1) 関係閣僚会合開催都市一覧

	会合名	開催地
1	科学技術大臣	仙台市
2	男女共同参画・女性活躍担当大臣	栃木県・日光市
3	内務・安全担当大臣	茨城県・水戸市
4	デジタル・技術大臣	群馬県
5	外務大臣	長野県・軽井沢町
6	貿易大臣	大阪府
7	財務大臣・中央銀行総裁会議	新潟県・新潟市
8	教育大臣	富山県、石川県(共催)
9	保健大臣	長崎県・長崎市
10	労働雇用大臣	岡山県・倉敷市
11	農業大臣	宮崎県・宮崎市
12	気候・エネルギー・環境大臣	札幌市
13	交通大臣	三重県・志摩市
14	都市大臣	香川県・高松市

(2) 国との役割分担

	国	地元自治体（長崎県・長崎市）
推進体制	G7 厚生労働関係閣僚会合等開催準備室を設置（厚生労働省内に設置） ※県市から 1 名ずつの計 2 名の職員を派遣	県市で専任事務局を設置（県庁舎内に設置、市から職員を派遣） ※県市から 4 名ずつの計 8 名体制（10/1 時点）
役割分担	大臣会合を主催し、各国との調整のほか、開催に係る業務を実施	官民協働の「G7 保健大臣会合推進協議会（仮称）」を立ち上げ、会合に向けて機運醸成やおもてなし関連等の各種事業を実施

(3) 組織図



(4) 「G7 保健大臣会合推進協議会（仮称）」とは

設置目的：長崎で開催される G7 保健大臣会合の成功に向け、官民一体となって会合開催に対する支援・協力を行うとともに、関連する事業の実施により、歓迎・機運の醸成や、地元の魅力を発信することを目的に設置するもの。

設立時期：令和 4 年 11 月を想定

構成団体：長崎 MICE 誘致推進協議会会員を中心に構成

※産業経済、観光宿泊、交通運輸、医療衛生、平和などの団体

2 事業内容

県市で設置する「G7 保健大臣会合推進協議会（仮称）」が主体となり、G7 保健大臣会合の開催を支援する各種業務を実施するための事業費を県と市で2分の1ずつ負担する。

(1) 事業費

負担金：37,500 千円 ※県も同額負担

支出先：G7 保健大臣会合推進協議会（仮称）

(2) 内訳

	項目	予算額（千円）	内容
①	開催支援	8,000	5,000 ●当日会場関連
			3,000 会場を中心とした周辺の装飾・パネル設置
			2,000 インフォメーションカウンター設置、案内用資料作成
			3,000 ●事前・周辺支援
			2,000 警備員サポート、交通規制等の情報の事前周知
			1,000 プレス関係者の案内・支援
			②
			5,000 国や県と共催の地元歓迎ランチレセプション
			2,000 県内エクスカージョンに係る警備・移動用車両費等
			5,000 各国代表用工芸品、プレス用記念品等の制作
			26,000 ●機運醸成
			9,000 講演会、シンポジウム、教育（学生）関係事業開催
			7,000 歓迎バナー・看板等の制作・掲出
			4,000 ホームページの開設、運営
			3,000 チラシ・パンフレット作成、発送
			3,000 大会用袋作成、配布用ノベルティ作成
③	地元発信事業	20,000	10,000 参加者・マスコミ関係者への平和展示や動画上映
			10,000 プレスツアー、県産品・観光 PR ブース設置
④	総務	9,000	旅費、通訳・翻訳関連費、報告書作成費 など
	合計	75,000	

3 財源内訳

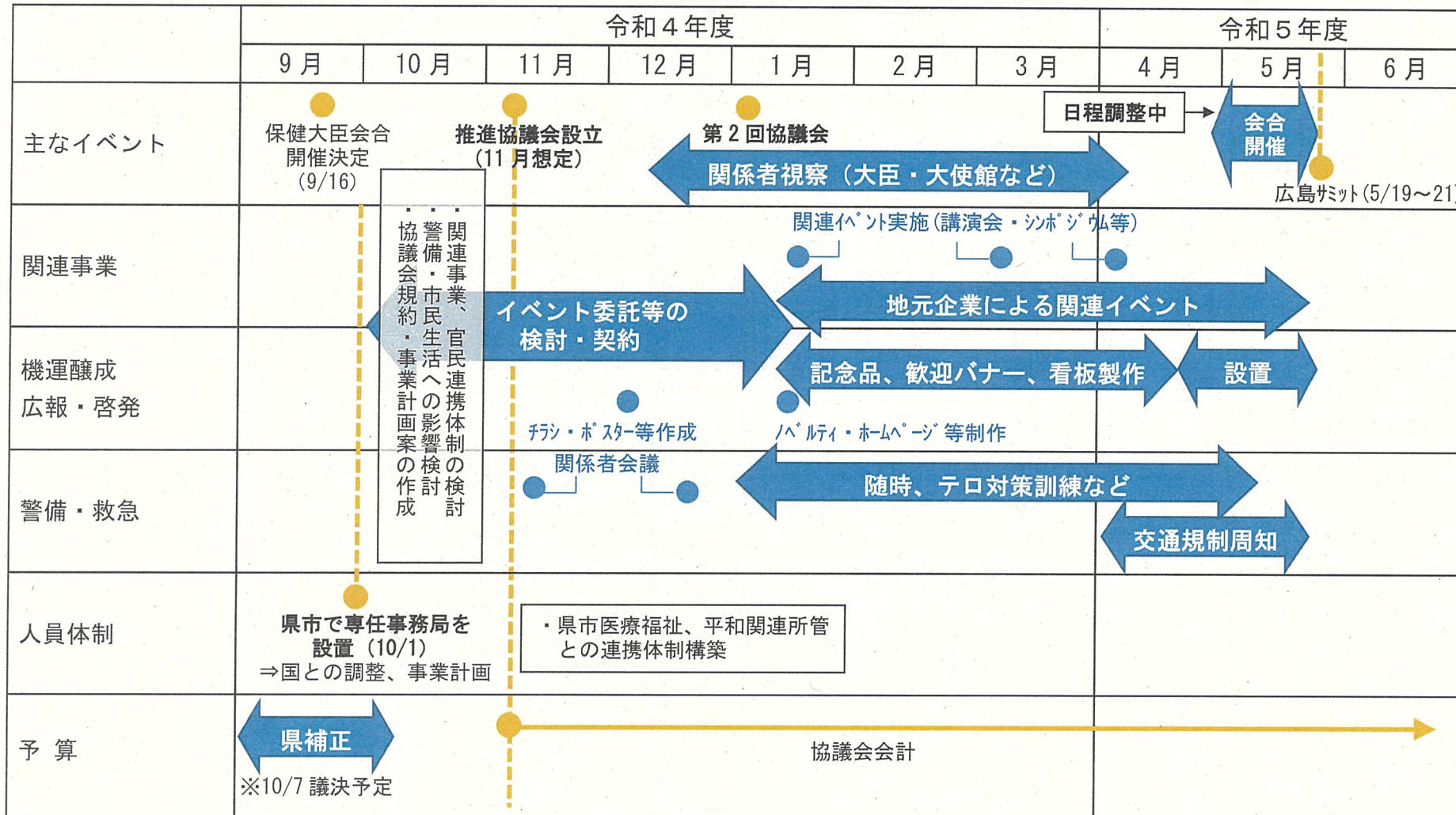
事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 37,500	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —	千円 37,500

4 事業実施の効果

- (1) MICE 都市「長崎」を世界に向けてアピールすることで、今後の国際会議・政府系会議の誘致活動における大きな実績（成果）となる。
- (2) 受入のノウハウの蓄積により、MICE 都市としてのレベルアップにつながる。
- (3) G7 各国のリーダーが長崎市を訪問し、長崎の被爆の実相や医療関係の先進的な取組みを知っていただくことにより、国際的なメッセージが発信できる。

5 今後想定されるスケジュール（案）

スケジュールについては、現時点の想定で、国、協議会との協議により決定するため変更になる場合があります。



※G7 広島サミット前に開催される場合の想定スケジュール

(参考1) G7 保健大臣会合誘致までの経緯

時期	想定手続・取組み等 (●: 国、省庁 ○: 自治体)
令和3年8月	○市が県に対し、出島メッセ長崎を会場とする関係閣僚会合の誘致を要望
令和3年10月1日	●外務省より自治体へ希望調査の実施に係る通知
令和3年10月28日	○長崎市長が定例記者会見で関係閣僚会合誘致を目指す旨を表明
令和3年12月3日	○定例県議会一般質問において、知事が誘致を前向きに検討する旨を表明
令和3年12月22日	○外務省に連絡を入れた上で、地元の強み、施設(会議場、空港等)、 宿舎のアピールポイント、協力体制案等を記載した誘致計画案概要及び会議場、宿舎、空港等の調査項目票の提出 ○知事・市長による共同記者会見
令和4年5月13日	○知事、市長による外務副大臣、内閣官房長官への要望
令和4年5月23日	●G7 サミットの広島開催発表
令和4年5月30日	○市長、市議会議長による農林水産大臣への要望
令和4年9月16日	●関係閣僚会合開催地の決定

(参考2) H28 伊勢志摩サミット開催時の各自治体の状況

1 G7 神戸保健大臣会合記録誌 (抜粋)

(1) 開催概要

プログラム

日程	時間	内容
9/11 (日)	11:00	歓迎レセプション(兵庫県・神戸市主催昼食会) 兵庫県知事プレゼンテーション フォトセッション 場所:神戸市相楽園会館
	13:30	開会
	15:30	セッション1:公衆衛生危機に対する国際保健の枠組み強化 Reinforcing the Global Health Architecture for Health Emergencies
	15:30	コーヒーブレイク(30分)
	16:00 18:00	セッション2:薬剤耐性への対応強化と研究開発の推進 Antimicrobial Resistance (AMR) and Research and Development (R&D)
	18:00	地元主催エクスカーション(オプション) 場所:人と防災未来センター
	19:30	厚生労働大臣主催夕食会
9/12 (月)	9:00 10:30	セッション3:健康で活動的な高齢化を焦点としたUHCの達成 Attaining Universal Health Coverage (UHC) focusing on Healthy and Active Ageing
	10:30	コーヒーブレイク(30分)
	11:00 12:10	セッション3:健康で活動的な高齢化を焦点としたUHCの達成 Attaining Universal Health Coverage (UHC) focusing on Healthy and Active Ageing
	12:10 12:20	セッション4:成果文書採択 Adoption of the Kobe Communiqué
	12:30	共同記者会見
	13:00	厚生労働省主催昼食会(市長プレゼンテーション)
	14:10 15:30	神戸医療産業都市の視察 場所:理化学研究所 多細胞システム形成研究センター 理化学研究所 計算科学研究機構
	16:00 19:00	医療関連企業の視察 場所:株式会社メディカロイド シスメックス株式会社

網掛け箇所は、県市や地元企業が関連イベントとして実施

(2) 参加者

各国および国際機関等の代表者

	国・機関名	氏名	役職
主要7か国およびEU	日本 Japan	塩崎 恭久 Yasuhisa Shiozaki	厚生労働大臣 Minister of Health, Labour and Welfare
	カナダ Canada	ジェーン・フィルポット Jane Pauline Philpott	保健大臣 Minister of Health
	フランス France	マリソル・トゥーレーヌ Marisol Jeanne Touraine	社会問題・保健・女性の権利大臣 Minister of Social Affairs and Health
	ドイツ Germany	ヘルマン・グレーエ Gottfried Hermann Gröhe	連邦保健大臣 Federal Minister of Health
	イタリア Italy	ヴィート・デ・フィリッポ Vito De Filippo	保健省副大臣 Undersecretary of the Ministry of Health
	イギリス United Kingdom	ニコラ・ブラックウッド Nicola Blackwood	公衆衛生・技術革新担当政務次官 Parliamentary Under Secretary of State for Public Health and Innovation
	アメリカ United States of America	ジミー・コルカー Jimmy Kolker	保健福祉省 地球規模課題次官補 Assistant Secretary for Global Affairs
	EU European Union	ヴィテニス・アンドリュカイティス Vytenis Povilas Andriukaitis	保健衛生・食の安全担当委員 European Commissioner for Health and Food Safety
アウトリーチ国	ラオス Lao People's Democratic Republic	ブンコン・シーハーヴォン Bounkong Syhavong	保健大臣 Minister of Health
	ミャンマー Myanmar	ミン・トウエ Myint Htwe	保健スポーツ大臣 Union Minister for Health and Sports
	シンガポール Singapore	タン・チュアンジン Tan Chuan-Jin	社会・家庭振興大臣 Minister for Social and Family Development
	タイ Thailand	ピヤサコン・サコンサタヤトン Piyasakol Sakolsatayadorn	保健大臣 Minister of Public Health
国際機関	WHO World Health Organization	マーガレット・チャン Margaret Chan	事務局長 Director-General
	WPRO WHO Regional Office for the Western Pacific	シン・ヨンス Shin Young-soo	WHO西太平洋地域事務局長 Regional Director for the Western Pacific
	OECD Organisation for Economic Co-operation and Development	ステファノ・スカルペッタ Stefano Scarpetta	雇用労働社会政策局長 Director, Directorate for Employment, Labour and Social Affairs
	世界銀行 World Bank Group	ティム・エバンス Tim Grant Evans	保健・栄養・人口担当上級局長 Senior Director, Health, Nutrition and Population Global Practice
	OCHA UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs	渡部 正樹 Masaki Watabe	神戸事務所長 Head, Kobe Office
民間財団規制当局	ビル&メリンダ・ゲイツ財団 Bill and Melinda Gates Foundation	ガネシュ・ラマクリシュナン Ganesh Ramakrishnan	アドボカシー広報部長 Deputy Director Program Advocacy and Communications
	ウェルカム・トラスト Wellcome Trust	ジェレミー・ファーラー Jeremy James Farrar	所長 Director
	PMDA Pharmaceuticals and Medical Devices Agency	近藤 達也 Tatsuya Kondo	理事長 Chief Executive

参加者数

各国政府関係者 約100人
 主催省庁 68人
 メディア 98人 (事前登録: 142人)

(3) 関連イベント

歓迎レセプションの開催

平成28年9月11日（日）11:00～12:30

場所／神戸市相楽園会館（受付：兵庫県職員会館）

会合出席者をお迎えして「歓迎レセプション」を開催し、兵庫・神戸のお酒や食材、特産品を使用した料理を提供しました。

【出席者】 171名（会合参加者：86名，地元招待者：85名）

【内 容】

(1) 地元小学生による歓迎行事

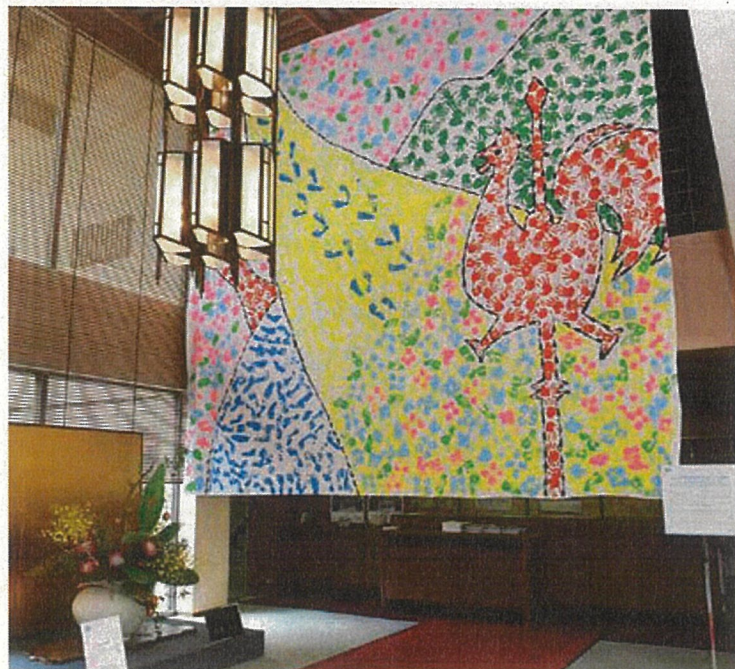
神戸市立こうべ小学校の児童126名が参加し、会場周辺の美化活動や各国大臣をはじめ会合出席者をG7各国の国旗でお出迎えしました。



各国大臣をはじめとした会合出席者をG7各国の国旗で歓迎



会場周辺の美化活動



神戸市立こうべ小学校の全児童が描いた「世界一大きな絵2016」

地元主催エクスカーション

平成28年9月11日（日）18:30～19:00

場所／人と防災未来センター

阪神・淡路大震災の経験を世界に伝えていくため、会合出席者を対象に人と防災未来センターの視察を実施しました。参加者は同センターの河田センター長、兵庫県の井戸知事らの案内で、シアターや様々な展示を見学しました。

【参加人数】 23名（会合出席者）



人と防災未来センター外観



参加者を出迎える井戸知事(写真中央)



地震直後の街並みを再現したジオラマ見学



参加者に随行する河田センター長



展示の見学の様子



語り部ボランティアとの交流の様子

出展ブースの様子



神戸市 有馬の湯を使った足湯コーナー 等



神戸市 神戸医療産業都市の取組み紹介 等



兵庫県 ごく兵庫の魅力PR



兵庫県 まちづくり研究所の産学官連携の取組み 等



関西経済連合会 概要および健康・医療産業への取組み紹介



関西広域連合 ドクターヘリの実機展示



厚生労働省 G7神戸保健大臣会合における検討課題の紹介



WHO神戸センター 活動内容のPRおよびハイスクールサミットの紹介

(4) その他関連イベント

下記のとおり、100日前イベントや学生関連イベントなども実施。

G7神戸保健大臣会合開催200日前フォーラム

会合開催まで200日前となった2月24日に、WHO健康開発総合研究センター(神戸センター)との共催で、「感染症」をテーマとしたフォーラムを開催しました。

【テーマ】 「感染症との闘い」

【日時】 平成28年2月24日(水) 18:00~19:30

【場所】 神戸国際会議場

【主催】 WHO神戸センター、G7神戸保健大臣会合推進協議会

【参加者数】 250人

【概要】

〈開会挨拶〉

兵庫県健康福祉部医監 山本 光昭

WHO神戸センター所長 アレックス・ロス

〈講演 第1部(日本語講演)〉

「グローバルヘルスガバナンス」～全ての人が関わる国際保健～

【講師】 WHO神戸センター テクニカル・オフィサー(健康危機管理担当)

茅野 龍馬

〈講演 第2部(英語講演〈日英同時通訳〉)〉

① シエラレオネにおけるエボラ出血熱との闘い

【講師】 シエラレオネ保健省保健システム政策・計画・情報部長

サミュエル・カーボ

② 現場の医療従事者の役割

【講師】 シエラレオネ コノ地区 医療管理者 ロナルド・カルション・マルシュ

③ エボラ出血熱へのWHOの対応

【講師】 WHO本部保健サービス及び危機管理部次長 シャムズ・パパール・シェド



(5) G7 神戸保健大臣会合推進協議会名簿

団体名	委員 (敬称略)	
兵庫県	知事	井戸 敏三
神戸市	市長	久元 喜造
神戸商工会議所	会頭	大橋 忠晴
兵庫県経営者協会	会長代行	三原 修二
一般社団法人神戸経済同友会	代表幹事	成松 郁廣
一般社団法人神戸青年会議所	理事長	徳田 周士
兵庫県市長会	会長	山中 健
兵庫県町村会	会長	戸田 善規
NHK神戸放送局	局長	槇山 淳
関西鉄道協会	会長	加藤 好文
神戸医療産業都市推進協議会	会長	井村 裕夫
一般財団法人神戸国際観光コンベンション協会	会長	小柴 善博
公益財団法人神戸国際協力交流センター	理事長	矢田 立郎
一般社団法人神戸市医師会	会長	置塩 隆
神戸市観光・ホテル旅館協会	会長	坊 武弘
公益社団法人神戸市歯科医師会	会長	徳川 潔
一般社団法人神戸市薬剤師会	会長	伊藤 清彦
株式会社神戸新聞社	代表取締役社長	高士 薫
WHO神戸センター	所長	アレックス・ロス
西日本旅客鉄道株式会社近畿統括本部神戸支社	執行役員近畿統括本部神戸支社長	塩島 孝
一般社団法人兵庫県医師会	会長	川島 龍一
公益社団法人兵庫県看護協会	会長	中野 則子
兵庫県港運協会	会長	佐伯 邦治
公益財団法人兵庫県国際交流協会	理事長	齋藤 富雄
一般社団法人兵庫県歯科医師会	会長	澤田 隆
一般社団法人兵庫県タクシー協会	会長	吉川 紀興
公益社団法人兵庫県バス協会	会長	長尾 真
一般社団法人兵庫県薬剤師会	会長	赤松 路子
公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構	理事長	五百旗頭 真
公益社団法人ひょうごツーリズム協会	理事長	西村 肇
Feel KOBE 観光推進協議会	会長	岩田 弘三

合計 31 団体

2 予算規模

関係閣僚会合名	立候補自治体	開催地	会合会場	予算額 (千円) H27～H28	県市の負担 (千円)	
					県	市
情報通信大臣会合	香川県	高松市	かがわ国際会議場	60,000	30,000	30,000
教育大臣会合	岡山県	倉敷市	倉敷アイビースクエア	67,465	-	-
環境大臣会合	富山県	富山市	富山国際会議場	34,890	23,260	11,630
科学技術大臣会合	茨城県	つくば市	つくば国際会議場	81,012	46,012	35,000
交通大臣会合	長野県	軽井沢町	軽井沢プリンスホテル	77,624	55,923	21,701
エネルギー大臣会合	北九州市	北九州市	リーガロイヤルホテル小倉	69,000	34,500	34,500
外務大臣会合	広島市	広島市	グランドプリンスホテル広島	83,200	41,600	41,600
農業大臣会合	新潟市	新潟市	朱鷺メッセ	69,000	23,000	46,000
財務大臣・中央銀行総裁会議	仙台市	仙台市	ホテル佐勤	130,698	0	130,698
保健大臣会合	神戸市	神戸市	神戸ポートピアホテル	50,000	25,000	25,000
平均予算額				72,289		

3 経済波及効果及びパブリシティ効果

会合名	経済波及効果	パブリシティ効果
エネルギー大臣会合 (北九州)	3億9,522万円	5億3,901万円
情報通信大臣会合 (香川)	8億4,500万円	4億5,924万円
財務大臣・中央銀行総裁会議 (仙台)	5億1,500万円	23億3,850万円
農業大臣会合 (新潟)	4億7,670万円	5億3,495万円
科学技術大臣会合 (茨城)	3億6,200万円	11億2,867万円

4 組織体制

関係閣僚会合名	日程 (H28)	開催地	組織人員体制 (人)				
			開催時 (又は最大)	内訳			省庁派遣
				県	市	その他	
外務大臣会合	4/10～4/11	広島市	6	0	6	0	2
農業大臣会合	4/23～4/24	新潟市	15	4	11	0	1
情報通信大臣会合	4/29～4/30	高松市	9	9	0	0	1
エネルギー大臣会合	5/1～5/2	北九州市	12	2	10	0	3
教育大臣会合	5/14～5/15	倉敷市	10	0	12	0	2
環境大臣会合	5/15～5/16	富山市	7	5	1	1	1
科学技術大臣会合	5/15～5/17	つくば市	15	10	2	3	0
財務大臣・中央銀行総裁会議	5/20～5/21	仙台市	15	0	15	0	0
保健大臣会合	9/11～9/12	神戸市	17	2	15	0	3
交通大臣会合	9/24～9/25	軽井沢町	10	7	3	0	1